

令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年3月31日

学) 金沢学園 新庄ベビーホーム

1、 本園の保育目標

- ・健康で明るく素直な子ども
- ・思いやり、勇気、感動を共有できる子ども
- ・自分の気持ちを表現できる子ども
- ・約束を守りみんな楽しく遊べる子ども

2、 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・個々の乳幼児を大切にし、安全な保育を心掛け、保育の質を高める。

3、 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	全体的な計画を見直し改善を図る	B	コロナ、禍幼児の姿や遊びの記録をもとに、保育士が定期的に話し合い、ねらいや内容の見直しを行った。
2	保育の質向上のために、園内研修を充実させる	A	コロナ禍、あそびの充実を図るため、PDCAを繰り返し、その結果、遊びが充実し、保育の質の向上が見られた。
3	特別支援教育のための園内支援体制を整備する	A	特別支援コーディネーターを配置し、家庭や関係機関との連携を図った。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4、 総合的な評価結果

評価	
A	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人ひとりの幼児を大切に、安全な保育を実践する事ができた。また、コロナ禍さらなる保育の質の向上に向けた課題も明確になった。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5、 今後取り組む課題

	課題	
1	環境	園庭や室内の環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に添った環境の構成に取り組む。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を保育士間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。水害危機管理もマニュアル導入
3	保小接続	保育士と小学校の教師が共に学ぶ機会を持ち、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育の接続を図る。

6、 学校関係者評価委員会の評価

※委員の総合的見解は、総合評価のAと同様にほぼ評価が高かった。

1. 安全に一年間保育ができたこと、保育環境の改善も多少行った。
2. 環境的にも園の研修大会で、保育の質を高められたので高い評価を得た。
3. 総合評価に準じて、おおむね日常課題にも積極的に取り組み委員の評価が高かった。